

## いそごキャラバンの活動

### 出前講座 学校に出向きます！

この講座では・・・



### ●「ちがいを知ること」で互いを認めあえる関係づくりにつながる

障がいの有無に関わらず、自分と他の人との感じ方の違いを知ること、一人ひとり自分の感覚を大切にしながら、互いのちがいを認めあえる関係づくりにつながります。

### ●発達障がいの特性を知ることができる

発達障がいの特性に多くみられる感覚過敏・鈍麻は、周囲からはわかりにくい、変わった人、困った人と思われがちです。自分でも何が不快なのかかわからず、まわりに伝えられないことが多いと言われています。

## 感覚のちがいを知ろうプログラム内容

1 **感覚ってなあに** スライドを使って、目には見えない「感覚」について学びます

2 **寸劇** 感覚のちがい（味覚・嗅覚・触覚鈍麻・聴覚過敏など）わずかな味のちがいや、音の間こえ方のちがいなど、身近な事例でお伝えします

3 **体験** 見え方など自分の中では当たり前になっている感覚も、人とは異なることが多くあります。体験を通して、感覚のちがいについて学んでいきます



【対象】 児童 概ね小学校3～4年生程度  
地域向けも可能 子どもに関わる団体、町内会やボランティアグループ、PTA や職員研修など

【会場】 貴開催の場所に当メンバーが出向きます

【時間】 30分程度 ご希望に合わせて

【費用】 会場や時間等により異なりますのでお問い合わせください

### ●キャラバン出前実績

横浜市立磯子小学校 / 横浜市立洋光台第一小学校  
横浜市立さわの里小学校 / 横浜市立東汲小学校  
横浜市立八景小学校 / 横浜市立梅林小学校 梅っ子体験スクール  
横浜市釜利谷小学校教職員研修  
横浜市立浜小学校 PTA 勉強会 / 磯子区社会福祉大会  
滝頭地区社会福祉協議会交流会  
南区子育てサポートシステム会員研修  
上笹下地域ケアプラザサポーター養成講座 / いそご福祉フェスタ  
保土ヶ谷区はぐみ塾+横浜国大講座  
金沢ヘルパーステーション職員研修  
その他、地域活動団体勉強会・スタッフ研修等 多数

## ふりかえりより

1まいの写真でも、みんなの見え方がちがっていてびっくりした。【3年生】

人はみんなちがうってわかってよかった。もっと自分と感覚がちがう人に気づいてほしいです。これからがんばって気づきます。【3年生】

この人権の話をはかの人にもひろめてみんなに知ってもらいたいと思いました。【3年生】

この世界には自分の思い以外にも他の人の思いがあって、自分にとっては意外なこともあった。いろいろな人の感覚があってびっくりした。どの感覚も悪いことではないということを知れた。【4年生】



ぼくはお兄ちゃんが耳のしょうがいをもっていつも大変で、病院にいたり発音の勉強にもいって、このあまりない機会をととてもありがたいと思っています。【4年生】

人は感覚が全然違うことがわかりました。自分は平気でも相手はいやかもしれないことがわかりました。人には伝わりにくいかもしれないから紙に書いたりして伝えやすいようにしたいです。【4年生】

今日教えてもらったことはおとなになってもだいじなことなので、今日のことはぜったいにわすれたくないです。【4年生】

世界にはいろんな人がいると知って、みんなちがってみんないいと思いました。【5年生】



自分とちがう人を責めたりは絶対してはいけないことだと思いました。自分から声をかけていきたいです。「みんなちがってみんないい」という言葉を忘れません。いじめがなくなるの信じる。【5年生】

人それぞれが自分の考えと相手の考えを認め、皆の考えについていいことをたくさん発見していきたいです。差別がなくなってお互いを認め合える関係になると素晴らしいと思う。【6年生】

自分と違うから否定するのではなく、自分が違うのかもかもしれないと考え、どちらもいいと思えるようにしていきたい。人それぞれ長所も短所もあるから、みんなが長所を出し合えるような環境をつくることも重要だと思った。【6年生】